※令和４年度以降入学生用

学校番号	403

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰ、Ⅱの授業で学んだことを発展させて、臨書、創作、鑑賞、実用書の４つの分野を往還しながら学習します。
・授業の進め方としては、単元の初めにプリントや図版、動画などを使い書道史を踏まえた理論の解説をします。筆づかい等の技法の説明をした後に作品を制作します。
・評価の方法は、毎時間ごとの作品、制作過程、プリント、授業態度の他、レポートや自己評価カード等で総合的に判断します。
・書は言葉を書く芸術です。多様な文字や書と関わることで、人と人、心と心のつながりを実感することができます。言葉の持つ力、言葉を書として表現したものの持つ発信力を、生活や社会の創造に生かしていく。文字を素材とした表現活動を中心とし、身近にある様々な題材について表現のねらいをもちながら、高校書道の学習を締めくくるにふさわしい自己表現を目指します。自分を知り、相手を知る。そして、共感する心を養いましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

⑴　書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身につけるようにする。（知識及び技能）

⑵　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）

⑶　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を創造的に表現するための技能を身につけ、表している。 ・書表現の工夫や、芸術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の表現や鑑賞の創造的な諸活動に取り組んでいる。 ・生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書道Ⅲに向けて	**書道Ⅲへの導入** ・金岡書道 金岡高校歴代の作品を鑑賞する。 ・名刺制作 自己紹介を兼ねた作品交換	a：目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現を身に付けている。（技） b：目的に応じた言葉の選び方を工夫して、字形や文字の大きさ、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し、工夫している。（思・表） c：自身の表現の意図に基づく幅広い表現の学習活動や鑑賞の創造的な活動に、主体的に取り組もうとしている。（態）	作品 ポートフォリオ	ワークシート プレゼンテーション	振り返りシート 観察
	臨書の集大成	**古典とマッチング** 漢字の書、仮名の書の古典の中から自分の好みや技術に相応しいものを選び、全紙1枚の大作に仕上げる。 大阪府高等学校芸術文化祭への出品を目指す。 ・半紙練習 ・作品草稿 ・全紙清書	a：古典の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態、また、線質と用筆・運筆との関わりについて理解し、その表現を身につけている。（知・表・技・鑑） b：古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。また、古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（表・鑑） c：古典の特質に基づく表現や自身の意図に基づく表現のための幅広い学習活動に主体的に取り組んでいる。また、書体の変遷について関心を持ち、古典のよさや美しさを甘受し、歴史的な価値について考えようとしている。（表・鑑・態）	作品 ポートフォリオ	ワークシート	振り返りシート ポートフォリオ 観察
	少字数創作	**想いをでっかく！** 世界に存在する言語や文字から、自分の制作意図に合うものを選択し、アレンジを加えて大作に仕上げる。 ・線の変化のトレーニング ・字形の変化のトレーニング ・紙面構成のトレーニング ・相互鑑賞会	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、について理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果やについて理解し、その表現を身に付けている。（知・技・鑑） b：筆圧や運筆のスピードを調節し、１本の筆で多様な線質の使い分けをする技術を身につけ、用筆・運筆、字形、潤渇、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。（表） b：書の普遍的価値について考え、主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求している。（表・鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現のための幅広い学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：言語、文字のよさや美しさを甘受し、書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑） c：他者の作品を鑑賞し、自らの作品や制作過程を振り返る機会を持とうとしている。（鑑）	作品 ポートフォリオ	ワークシート プレゼンテーション	振り返りシート ポートフォリオ 観察

※令和４年度以降入学生用

２学期	実用書	**大人のマナー講座** 冠婚葬祭にまつわるマナーを知り、場面に応じた振る舞いの一環としての実用書を学ぶ。 ・冠婚葬祭とは ・筆ペントレーニング ・自分の名前と他者の名前 ・のし袋とは ・祝儀、不祝儀袋の扱い方	a：冠婚葬祭のマナーや、実用書の書体や線質と用筆・運筆との関わりについて理解し、目的や用途に即した効果的な表現を身に付けている。（知・表・技） b：実用書の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫しながら、その価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（表・鑑） c：実用書のよさや美しさを甘受し、歴史的な価値について考えながら、その特質に基づく幅広い学習活動に主体的に取り組んでいる。（表・鑑）	作品 ポートフォリオ	ワークシート	振り返りシート ポートフォリオ 観察
	顔彩と書	**書と絵のコラボレーション** 自己や自校のいいところを導き出し、他者に伝えることを目的とした作品制作。 日常に即した高校生のリアルな感性を言語化し、既習の創作における工夫（線質、字形、紙面構成）をふまえて制作する。 また、他者と共同制作をすることによって、考えや感性の違いやそのよさに気づき、同時に自分の考えを客観的に見つめる機会にする。 ・季節の書 ・カナオカルタ（連歌）	a：用具・用材の特徴や線質、字形、構成等の要素などの表現効果との関わり、また、顔彩を用いる目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。（知・表・技） b：漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。（表） b：他者の作品について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の意図に基づく表現を模索し、漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。また、そのよさや美しさを甘受し、書の意味や価値について考えながら、幅広い表現や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。（表・鑑）	作品 ポートフォリオ	ワークシート グループワーク	振り返りシート ポートフォリオ 観察
	鑑賞	**近現代の書** 近現代の書作品を取り上げて、作品の背景や書における表現の多様性や書と美術の関わりなど個々に設定したテーマに沿って調べる。これらを通じて、芸術における書の位置づけについて考察を深める。 ・プレゼンテーション ・ディベート	a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（知・鑑） a：書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす動きと関わらせて理解している（知） a：書の歴史と書論について理解を深めている（知） b：書論を踏まえた書の芸術性や普遍的価値について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている（思・判） c：書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。（鑑）		ワークシート グループワーク プレゼンテーション	振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	卒業制作	**卒業制作** 選択生から希望を取り、個別または合作の作品を制作する。 ・作品解説 ・プレゼンテーション ・廊下展示	a：現代の社会生活に生きる様々な書の表現とその要素について理解を深めている。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、書の美の多様性や、伝統とその背景となる諸文化等の関わりについて理解を深めている。（知・鑑） a：書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けている。（技） b：主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を追求している。（表） b：書の普遍的価値やその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	ワークシート グループワーク プレゼンテーション	振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度